

番号	4
カテゴリー	多言語化
キーワード	自動翻訳、多言語情報配信
サービス名	MCCatalog+ エムシーカタログプラス／Catalog Pocket カタログポケット
運営・構築	株式会社モリサワ
URL	http://www.mccatalog.jp/ http://catapoke.com/

<特色>

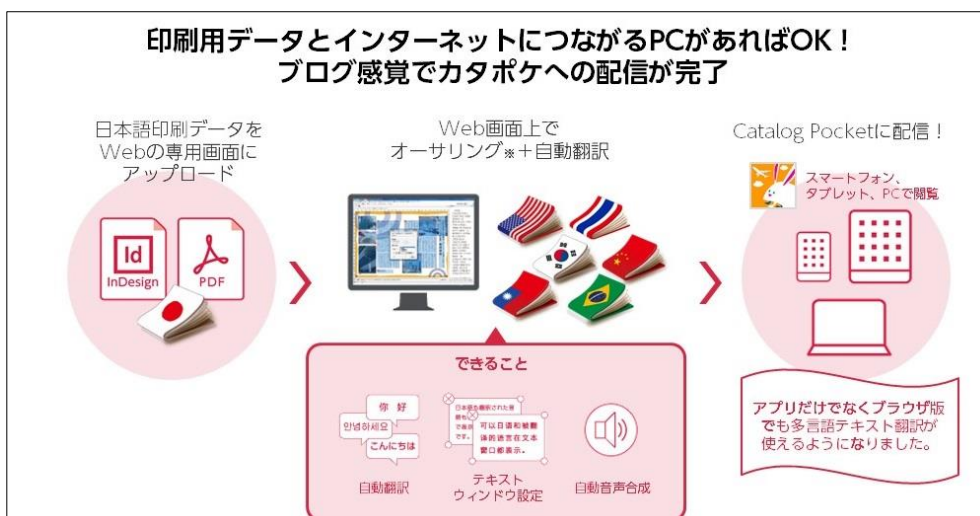
「MCCatalog+(エムシーカタログプラス)」は、PDF やアドビシステムズ「InDesign」の日本語印刷データを、専用オーサリングツール(※1)を使って、自動翻訳(7か国語/株高電社製)し、スマートフォン、タブレット端末、パソコンへ一括配信することができる情報配信ツール。文字情報をもとに音声データを自動生成することも可能。配信情報は、専用の閲覧アプリケーション「Catalog Pocket(カタログポケット)」を介して多言語による閲覧と視聴が可能となる。アプリケーションは、ユニバーサルデザインフォントと文字の拡大機能、自動音声読み上げ機能を搭載し、「読みやすさ」にこだわり、聴覚のアクセシビリティにも対応。Twitter、Facebook、LINE、メールにて情報の拡散も可能。

印刷用データとインターネット環境にあるパソコンがあれば、ブログ感覚で多言語情報配信が可能となり、翻訳費、制作費、印刷費の削減につながる。また、アプリケーションの閲覧に関する数値分析が可能。紙媒体は部数でしか効果を測れないが、記事毎に効果が分析できることで、マーケティングツールとしても有効である。

<内容・事例>

1. 機能

既存の日本語印刷物の制作データを利用し、以下のタイムリーな多言語情報配信が可能に。オーサリングツールでは、多言語翻訳エンジンと連携し、日本語のコンテンツデータを多言語化。



※1 オーサリングシステム… テキスト部分をタップすると「テキストウインドウ」が出現し、デバイスの OS 設定に基づき自動的に言語を選択表示。これにより、日本語独特の縦組や翻訳による文字数増減などを気にすることなく、タイムリーな翻訳配信が可能となる。

## 2. プラン内容

すべての機能が利用できる MCCatalog+ Maker 版と、PDF で手軽にアップロードできる MCCatalog+ CMS 版の 2 通りの方法を用意。

## 3. 事例

### ■大阪市浪速区市民協働課

大阪市のほぼ中心に位置する浪速区。面積が小さく、全国でも一番小さな行政区。2015 年 2 月に発行された『浪速区観光ガイドブック』で、MCCatalog+を活用。通天閣のある新世界、ポップカルチャーで盛り上がる日本橋でんでんタウンなど、魅力的な観光スポットをディープに紹介。

※他の自治体の事例… 広島県呉市「市政だよりくれ」、静岡県富士宮市「広報ふじのみや」



### <実績>

現在、日本国内で約 100 社(自治体 2 割、企業 8 割)が導入済み。自治体関連では、市町村、観光協会、地域内の印刷会社等が利用している。

### <導入の効果>

既存の日本語パンフレットを自動翻訳することができるので、新たな多言語パンフレットの作成が不要であるという、物的コスト、人的リソースに係る作業量の削減効果。

### <今後の方向性>

閲覧者の興味を数値化することができる分析機能(閲覧時間分析、リンクタップ分析、検索文字列分析など)を活用させ、マーケティングツールとしての役割を提案していく。

### <問い合わせ先>

担当者	株式会社モリスワ 公共ビジネス推進課 小野 大輔
郵便番号	162-0822
住所	東京都新宿区下宮比町 2-27
電話番号	03-3267-1378
e-mail	catalog-team@morisawa.co.jp